

東横線とみなとみらい21線との相互直通運転開始に伴う 東横線横浜～桜木町間の廃止について

本日(30日)鉄道事業廃止届出書を提出、2004年1月31日(土)に廃止予定

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:上條清文)では、東横線とみなとみらい21線との相互直通運転開始に伴う東横線横浜～桜木町間の廃止について、本日(30日)国土交通大臣に鉄道事業廃止届出書を提出しました。廃止予定日は2004年1月31日(土)です。

みなとみらい21線は、横浜駅からみなとみらい21地区を経て元町・中華街に至る延長4.1kmの鉄道新線で、1989年に第3セクターとして設立された横浜高速鉄道株式会社が建設および運行を行うもので、現在、2004年2月中の開業を目指し、工事が進められています。

同線と東横線との相互直通運転については、1987年に横浜市から当社に対し、横浜都心部全体の活性化を図るには東京都心等の広域圏との接続強化が重要であるとして申し入れがあり、両者で合意したもので、現在、当社においても東横線東白楽～横浜間で相互直通運転のための地下化工事を進めています。なお、2000年1月に出された運輸政策審議会答申第18号においても、みなとみらい21線の開業および東横線との相互直通運転について、目標年次(2015年)までに開業すべきことが適当である路線とされています。

相互直通運転開始に伴う東横線横浜～桜木町間の廃止については、両線の接続を横浜駅地下で行うことになること、代替鉄道路線としてJR根岸線、横浜市営地下鉄線の2路線が存在していることなどにより、現在高架構造である同区間を廃止するものです。廃止後は同区間の鉄道跡地を横浜市に譲渡し、横浜市が跡地を整備、活用していく計画です。

なお東横線は、2012年度に渋谷駅において営団13号線との相互直通運転の実施を予定しており、これが実施されると池袋～新宿～渋谷～横浜が一本の路線でつながることになり、副都心と横浜地区を結ぶ、首都圏における広域的な鉄道ネットワークの一端を担う動脈路線としての機能を持つこととなります。

東横線横浜～桜木町間の廃止の詳細は下記の通りです。

記

1. 廃止区間 東横線 横浜～桜木町間
- (1) 営業キロ 2.0 km
 - (2) 廃止となる駅 2 駅(高島町駅、桜木町駅)

2 . 廃止届出書提出日 2 0 0 3 年 1 月 3 0 日 (木)

3 . 廃止予定日 2 0 0 4 年 1 月 3 1 日 (土)

廃止区間は、2 0 0 4 年 1 月 3 0 日の終電 (予定) をもって
営業を終了いたします。

みなとみらい 2 1 線との相互直通運転は、東横線東白楽～横浜
間を地下に切り替え後、みなとみらい 2 1 線内に車両を搬入し、
機器調整、乗務員の習熟訓練及び営業に関する検査等のため、
約 1 週間後を予定しております。

なお、横浜～桜木町駅間の廃止から相互直通運転開始までは、
東横線は渋谷～横浜間の運転となります。